

MA-5 オーサリング・ツール

(ATS-MA-5 MLD_N 版)

導入ガイド

Ver2.2.1 2004 年 11 月 5 日

ヤマハ株式会社

本書および本ソフトウェアの著作権は、ヤマハ株式会社に属しています。
本書の内容の転載・一部複製には、ヤマハ株式会社の承諾が必要です。
また、本書の内容は予告なく変更される場合があります。

Copyright© 2004 YAMAHA Corporation
All rights reserved

<目次>

1.はじめに	3
2.フォルダ構成 について.....	4
3.MA-5 オーサリングツールの構成について	5
4.MA-5 オーサリングツールの機能について	6
5.制作の手順とデータの流れ.....	9

<更新履歴>

Ver.	Date	内容
2.1.1	2004/4/29	新規
2.2.1	2004/11/5	VLD-MA3 を追加 簡単マニュアルを追加 HV-TOOL を追加

1.はじめに

本書は、MA-5 オーサリングツール（ATS-MA-5-N）の全体説明です。全ての説明書の最初にお読みください。

2.フォルダ構成 について

__ Doc	_____ ATS-MA5-N_Um.pdf	: MA-5 オーサリングツール ユーザーズマニュアル
	__ ATS-MA5-N_Gl.pdf	: コンテンツ制作ガイドライン for MA-5 オーサリング・システム
	__ MFi-Multi_Gl.pdf	: コンテンツ制作ガイドライン for MFi/Multi再生
	__ ATS-MA5-N_INT.pdf	: MA-5 オーサリングツール 導入ガイド
	__ HV-Script_FG_JP.pdf	: HV-Script 解説書
	__ HV-Tool.pdf	: HV-Tool 解説書
	__ 簡単マニュアル 5 種	: 各種簡単マニュアル
__ ATS-MA5-N	_____ Setup.Exe	: オーサリングツールセットアップ実行ファイル
	<u>(Setup.Exe を実行することによりオーサリングツールがセットアップされます)</u>	
__ HV-TOOL		
__ Sample		
__ VoiceLibrary	_____	
	__ VLF-MA3	: FM 音色ライブラリー
	__ VLP-MA3	: PCM 音色ライブラリー
	__ VLA-MA5	: AL 音色ライブラリー
	__ VLP-MA5	: PCM 音色ライブラリー
	__ VLW-MA3	: エスニック音色ライブラリー
	__ VLH-MA5(J)	: HV 音色ライブラリー
	__ VLD-MA3	: デコレーターライブラリー

3.MA-5 オーサリングツールの構成について

MA-5 オーサリングツールは携帯端末用コンテンツを制作・編集・評価するためのソフトウェアです。本ソフトウェアは、Windows®2000、Windows®XP 上で動作します。

本アプリケーションにより、SMF（Standard MIDI File）からフォーマット MLD ファイルへのコンバート、音色編集、管理情報編集を行なうことができます。

MA-5 オーサリングツール概略構成図は以下のようになります。

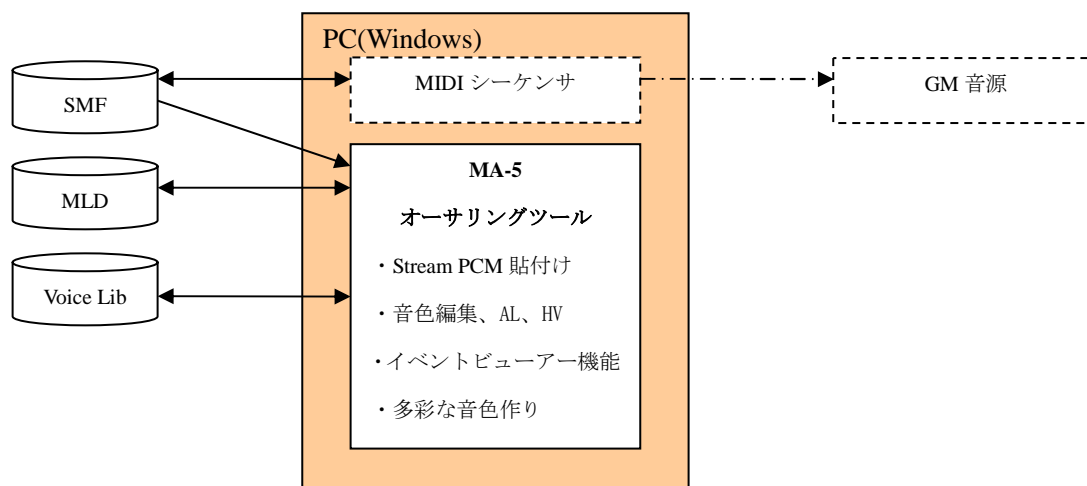


図. MA-5 オーサリングツール概略構成図

4. MA-5 オーサリングツールの機能について

N505/N252 用、N506 (N253i)、N900 用のコンテンツを作成可能

MA-5 オーサリングツールでは、Preference の MobileType を切り替えることにより、各端末用のコンテンツを作成することが可能です。

MA-5 オーサリングツールとシーケンサの独立

MA-5 オーサリングツールは、汎用 MIDI シーケンサと併用して用いる独立したアプリケーションソフトです。ユーザーが最も使い慣れているシーケンサを選んでいただくことができます。ご使用のシーケンスソフトでシーケンス編集を行い、MA-5 オーサリングツールで、音色編集、管理情報編集を行うことにより、MLD に変換するまでの全ての操作が可能です。

ストリーム PCM 貼付機能

チャンネルシーケンスと同期演奏を行うためのストリーム PCM ファイルを読み込み、アサインすることができます。SMF にノートを設定しなくても、ツールのピアノロール上で貼り付けることが出来るようになりました。

外部 MIDI シーケンサと MA-5 オーサリングツールを組み合わせることによりストリーム PCM の編集と確認を容易に行うことができます。

HV 作成、編集機能

「N900 モード」

MA-5 のスクリプト音声合成機能である HV のデータを作成、編集することができます。

HV スクリプトファイルを作成、自由に言葉を音声合成することができます。また合成した言葉をチャンネルシーケンスに同期するようアサインすることができます。

ピアノロール上で貼り付け、移動、スクリプト編集等が可能です。

HV スクリプトを編集して、言葉や抑揚を変更したり、HV 音色を編集して、声の音質を変更することもできます。

イベントビューアー機能

SMF データを読み込み、イベント情報をイベントビュー画面上で確認することができます。

SMF データをピアノロールの画面上で確認することができます。再生確認中にピアノロールの画面は、同期しながら進みます。

曲のインフォメーションの編集を行うことができます。

多彩な音色作りが可能

MA-5 エミュレータは、FM 音源と PCM 音源の 2 つの音源方式を採用しています。

FM16 モード: 2 オペレータ・4 オペレータの音色、PCM 音色を使用することができ、AL パラメータを設定することができるモードです。

FM32 モード: 2 オペレータの音色、PCM 音色を使用することができ、AL パラメータを設定することができるモードです。

AL パラメータ機能搭載

FM 音色、PCM 音色、Noise に AL パラメータを設定することにより、フィルターの効果が得られます。

最大可能同時発音数

本 MA-5 オーサリングツールには、N505/N252 モード、N506(N253)モード、N900 モード、FM16 モード/FM32 モードがあります。最大可能同時発音数は、モード設定や AL チャンネルを使用するかしないかによって異なります。

「N505/N252 モード、N506(N253)モード」

AL チャンネルを使用しない場合の最大可能同時発音数

	FM 音源	PCM 音源	StreamPCM	計
FM16 モード	16	16	2	34
FM32 モード	32	16	2	50

AL チャンネルを使用した場合の最大可能同時発音数

	AL	FM 音源	PCM 音源	StreamPCM	計
FM16 モード	1	15	15	2	33
FM32 モード	1	31	15	2	49

「N900 モード」

AL チャンネルを使用しない場合の最大可能同時発音数

	FM 音源	PCM 音源	StreamPCM	HV	計
FM16 音モード	16	16	2	1	35
FM32 音モード	32	16	2	1	51

AL チャンネルを使用した場合の最大可能同時発音数

	AL	FM 音源	PCM 音源	StreamPCM	HV	計
FM16 音モード	1	15	15	2	1	34
FM32 音モード	1	31	15	2	1	50

PCM 音源では 16bitPCM (4bitADPCM もしくは、8bitPCM にエンコード) または 8bitPCM (8bitPCM にエンコード) のサウンドファイル (AIFF、WAVE) を読み込み、周波数変更、エンベロープの変更、ループポイントの設定等を行い、お好みの PCM サウンドを FM16、FM32 モードでは、最大 16 音使用して頂けます。(サイズ制限があります)

音色ライブラリを利用し、多種多様なサウンドを容易に実現

本アプリケーションには、多彩な音色データを収録した Voice Library (VLF/VLP/VLA/VLH/VLW/VLD) を付属しています。

VLF は FM 音色の拡張音色ライブラリであり、デフォルト音色とは趣向の異なる音を簡単に拡張して使用することができます。

VLP は PCM 音色ライブラリであり、FM とは異なるリアルなサウンドを容易に実現することができます。

VLA は AL パラメータを使用した音色のライブラリであり、FM 音色と PCM 音色にフィルター効果を追加したサウンドを使用することができます。

VLH は、MA5 の HV (Japanese) 用音色ライブラリです。男性・女性等人の声から動物やロボットといった人以外の生き物や架空のキャラクタ、または楽器としての音色をそろえています。

VLW は Ethnic Library であり、民族楽器の音を拡張できます。

VLD は Decorator ライブラリです。様々な特色を持ったバンク音色で好きな雰囲気曲に仕上げるすることができます。

これらの音色ライブラリを使用することにより、多種多様なサウンドを容易に実現することができます。

各音色ライブラリの登録方法など詳細については、ライブラリ添付のマニュアルを参照して下さい。

5.制作の手順とデータの流れ

下記はデータ開発の基本的な流れを示したものです。既に PCM データや MIDI データが存在し、それを流用する場合など、もちろんこの限りではありません。

